

目次 Contents

- 3 しずおか市町対抗駅伝
- 4 【特集】令和元年度 決算報告
- 7 水道・下水道会計決算報告
- 8 フォトグラフ
- 9 令和2年分年末調整
- 10 11月は年金月間／秋季全国火災予防運動
- 11 無線放送戸別受信機のデジタル化／岩波駅のバリアフリー化が完了
- 12 税の滞納整理強化月間／放課後児童室入室児童の募集
- 13 インフォメーション
- 17 図書館だより
- 18 救急協力医
- 20 裾野っ子／すこやかタウン

表紙 Front cover



笑顔でゴール

10月3日(土)、西小学校で運動会が行われました。すっきりと晴れた青空の下、児童たちは精一杯駆けたり、練習を重ねてきた鼓笛の演技を披露したりし、見応えのある運動会となりました。



山の自然環境を守るために

市猟友会 会長
臼井 省悟さん (70歳・御宿坂上)

臼井さんは市猟友会会長のほか、市有害鳥獣被害対策実施隊の隊長も務めています。狩猟免許を取得して50年ほどの経験を持つ臼井さんは、山の環境変化を肌で感じています。「昔は山に入ればクマザサや下草に覆われ、前が良く見えませんでした。今では、増えすぎたニホンジカが新芽から食べ尽くしてしまうため、下草がほとんどありません。このままでは山の自然が失われ、土砂災害などが発生してしまうのではないのでしょうか」と警鐘を鳴らします。

人里でも、有害鳥獣による農作物被害が大きな問題となっています。

猟期は冬季の3カ月ほどですが、猟期外でも、市から委託を受け実施する有害鳥獣捕獲やパトロール、県によるニホンジカの個体数調整のための管理捕獲などに協力しています。「安全には特に神経を使うので、負担は大きいですが、放置することはできません。有害鳥獣による被害拡大を防ぎ、大切な里山を守るために、猟友会が活動を行っていることを知ってほしいです。最近ではジビエ料理などが注目されているので、捕獲した動物の利活用を考えてほしいです」と訴えます。

近年では、自ら田畑を守るなどの目的でわな免許を取得する人が増えつつあります。「皆さんも、山で起こっている問題について少しでも関心をもってもらえるとうれしいです」と語ってくれました。



susonobito No.20